



令和5年度 人口減少対策における主要施策

紀 宝 町

(令和5年度当初予算(案)の抜粋)

令和5年度所信表明における主要施策概要

「誇りと愛着の持てる魅力あるまちづくり」を目指し、紀宝町に「住んでみたい」・「住んで良かった」とさらに実感していただくため、以下の事業を展開していきます。

給食費の無償化

44,830千円

継続

・子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、子どもの育てやすい環境を整え、子育て世帯の定住を促進します。



※保育所10,927千円、幼稚園2,203千円
小学校19,542千円、中学校11,474千円
児童発達支援施設：600千円
特別支援学校等：（小・中）84千円

担当課 福祉課、教育課

地域医療研修センター事業

3,636千円

継続

・ポストコロナ時代に求められる優秀な医療人材の育成・確保、超高齢化社会のニーズに合わせ、地域包括ケアシステムの推進、在宅医療の充実に強化します。



※リモート医師遠隔派遣支援 1,800千円
メタバースサービス使用料 476千円 他

担当課 みらい健康課

保育料第2子以降の無償化

6,549千円

新規

・合計特殊出生率の向上による人口減少対策を図り、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ります。



※保育所：6,273千円
児童発達支援施設：276千円

担当課 福祉課

出産祝い金事業

4,900千円

拡充

・合計特殊出生率の向上による人口減少対策を図り、「まちの宝」の誕生をお祝いします。



※第2子：10万円
第3子：20万円
第4子以降：30万円

担当課 福祉課

★
ハッピーマリッジ祝い金事業 900千円

新規

・既存の「結婚新生活支援」制度の対象にならない新婚カップルの皆様に祝い金3万円を支給し、新しい門出をお祝いし、定住を促進します。



担当課 企画調整課

★
活力あふれる若者定住応援金 1,500千円

新規

・高等学校や大学等を卒業後、またはU I Jターンで町内に在住して地元企業に就職した場合などに、5か年にわたり年額5万円を上限として、町民税相当額を支給し、定住を促進します。(16歳~29歳までの方)



担当課 企画調整課

高齢者運転免許証自主返納支援 1,600千円

新規

・高齢者による交通事故の発生を抑制するため、運転免許証を自主返納された方に、タクシー利用券2万円分・共通商品券1万円分を支給し、自主返納による不便さの軽減、外出機会の創出を図ります。



(お一人様1回限りです)

担当課 総務課

高齢者等おでかけ応援電動車購入補助 2,040千円

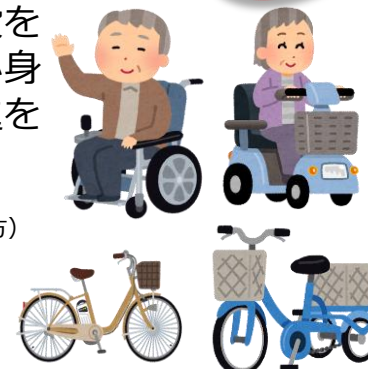
新規

・日常生活における移動手段を確保し、社会参加の促進、心身の健康増進、介護予防の推進を図ります。

(65歳以上で運転免許証を未保有、自主返納された方、または身体障害者手帳をお持ちの方)

※電動車いす：上限14万円
電動アシスト自転車：上限5万円
電動アシスト三輪車：上限7万円
三輪車：上限3万円

(自主返納された方は上乗せあり)



担当課 企画調整課

商業活性化促進事業 2,000千円

新規

・長期化している物価高騰による町民生活の支援を図る目的として、町商工会が発行する共通商品券に割増し、販売することにより、町内経済の活性化及び消費喚起を促進します。



(参考)

※5千円購入で1千円割増、1万円購入で2千円割増。

担当課 産業振興課

店舗魅力アップ事業 2,000千円

新規

・町内店舗等の魅力及び集客力の向上を図るため、上限100万円として、店舗の改修や取得費用などを支援し、商業の活性化を図ります。



担当課 産業振興課

雇用創出マッチング事業 5,083千円

新規

・町内事業者や商工会と連携し、新卒者・UIターン者・移住希望者などを対象に、企業説明会の開催、地元高等学校や地元出身者が学んでいる大学等への企業情報の発信、また、企業誘致に向けての町内適地調査を進め、雇用の創出・確保を図ります。



担当課 産業振興課、企画調整課

創業支援助成金事業 2,000千円

拡充

・新たに起業する方に上限100万円として、必要な店舗の取得や建築工事や改装工事・備品購入費、広告宣伝費などを支援し、起業支援の充実を図ります。



担当課 産業振興課

不妊治療支援事業 1,571千円

継続

・遠方の医療機関において不妊治療を受ける際に、通院に要した交通費及び宿泊費を助成し、夫婦の経済的負担の軽減を図ります。

(年齢及び助成回数制限ありません)

※交通費：2万5千円上限(1回の通院につき)

宿泊費：5千円上限(1回の通院につき)

(1泊限り、付き添い1名含む)



担当課 みらい健康課

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 4,407千円

新規

・高齢者の健康上の不安を取り除き、住み慣れた場所で自立して生活ができる期間を延伸させる取り組みを推進します。



担当課 みらい健康課

介護予防事業 15,921千円

拡充

・各種運動教室のさらなる充実を図るため、フィットネスジムと連携した体験トレーニングを実施し、介護予防の啓発・周知とあわせ、高齢者の自主的な取り組みを支援します。

(うち、ジムを利用した介護予防事業委託料 975千円)



担当課 みらい健康課

空き家対策関連事業 25,522千円

継続

・空き家の解体・活用を円滑に推進することを目指すため、プロジェクトチームにおいて、実態把握や活用の検討を進めます。

※解体助成金 7,500千円

地域おこし協力隊 9,172千円

空き家バンク 1,850千円

空き家改修・リノベーション 2,000千円

購入支援(新築・空き家問わず) 5,000千円



担当課 基盤整備課 企画調整課

○人口減少対策における主要施策一覧

①移住定住促進関連 1/2

事業名	予算額	担当課	主な事業内容
移住定住支援員設置事業	400	企画調整課	お試し住宅利用時等の町案内や移住相談会時に同行し、移住定住のよりリアルな声を移住検討者に届けたり、SNS等を活用し町のPRを行っていただく支援員を設置する。
地方創生子育て移住定住促進関連事業 (地域外から移住を支援するふるさと応援団事業)	281	企画調整課	産業や交流の拡大を図るため、紀宝町出身者や紀宝町を愛する人で組織した「紀宝町応援団」の会員に向け情報提供を行う。
地方創生子育て移住定住促進関連事業 (都市部への移住促進PR事業)	1,364	企画調整課	都市部からの移住促進を図るため移住相談会への参加やオンラインによる移住相談会を開催する。
地方創生子育て移住定住促進関連事業 (就労体験事業)	300	産業振興課	移住を検討している方向けの地元企業での就労体験を行う。
婚活支援事業	1,427	企画調整課	当地域内での出会いの場を創出し、婚活を支援するため、婚活イベントや交流イベント及び婚活セミナーを開催する。
お試し住宅制度事業	314	企画調整課	田舎への移住を検討している方のために、町内の住宅を無料で貸出し、お試し生活をしていただく。
地方創生子育て移住定住促進関連事業 (雇用マッチング事業) (再掲)	5,083	産業振興課	企業・町の情報発信(冊子の作成)をはじめ、就職相談会の開催や誘致企業の適地・業種調査、通勤圏内の労働力調査等を行う。
移住支援事業 (移住・就業マッチング支援事業)	3,000	企画調整課	東京圏から就業マッチングサイトを通じて移住・就業した場合等の要件を満たした場合に支援金を支給する。

○人口減少対策における主要施策一覧

①移住定住促進関連 2/2

事業名	予算額	担当課	主な事業内容
若者定住促進奨学金返還支援制度助成金	1,000	企画調整課	大学等を卒業又は修了した方で、本町で定住し、在学中に奨学金の貸与を受けていた方に対して、奨学金の返還の支援する。
活力あふれる若者定住応援事業（再掲）	2,500	企画調整課	町内への移住定住促進、また、地元企業への就職を支援するため、町内に在住し、地元企業に就職した者等に対し、納税した市町村民税に相当する額を最長5年間にわたり支給する。
移住新生活応援事業	2,000	企画調整課	県外から移住された方を対象に、移住に要した経費（住居費、引越費用）の一部を助成する。
定住促進のための町有地分譲事業	－	企画調整課	本町における定住を促進し、地域の活性化を図るため、本町が所有する土地を分譲する。
住宅購入支援事業（再掲）	5,000	企画調整課	新築・中古（空き家）を問わず、住宅を購入した場合に、要した経費の一部を商品券の交付により助成する。（子育て加算有）
若者定住住宅新築支援措置による固定資産税の特例措置	－	税務住民課	39歳までの若者が町内に住宅を新築した場合、その住宅に係る固定資産税を8年間減税します。
結婚新生活支援事業	4,500	企画調整課	年間所得が400万円未満の新たに結婚した世帯に対して、住居費及び引っ越し費用、リフォーム費用を補助する。
ハッピーマリッジ祝い金事業（再掲）	900	企画調整課	移住・定住を促進し、地域の活性化を図るため、町内に在住し、新たに婚姻した世帯等に対し、祝い金を支給する。

○人口減少対策における主要施策一覧

②子育て支援関連 1/2

事業名	予算額	担当課	主な事業内容
不妊治療支援事業（再掲）	1,571	みらい健康課	遠方の医療機関において不妊治療を受ける際に、通院に要した交通費及び宿泊費を助成する。
出産祝い金事業（再掲）	4,900	福祉課	合計特殊出生率の向上による人口減少対策を図り、「まちの宝」の誕生を祝う。
出生お祝い事業	126	企画調整課	出生届提出時に、お祝いとして地元で収穫されたお米（結びの神）3kgを支給する。
地方創生子育て移住定住促進関連事業（子育てハンドブック作成事業）	264	みらい健康課	移住定住促進と子育て支援に活用するため、移住・定住PR時や母子手帳発行時に配付する子育て支援内容を集約したハンドブックを作成する。
保育所給食費無償化事業（再掲）	10,927	福祉課	子育て支援、少子化対策として、保育所の給食費の無償化を実施する。
保育料第2子以降無償化事業（再掲）	6,274	福祉課	子育て支援、少子化対策として、第2子以降の保育所保育料の無償化を実施する。
給食費無償化事業（再掲）	33,219	教育課	子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、子どもの育てやすい環境を整え、子育て世帯の定住を促進する。
こども医療費助成事業	30,000	福祉課	高校3年生までの子どもを対象とし、保険診療の自己負担分を助成する。

○人口減少対策における主要施策一覧

②子育て支援関連 2/2

事業名	予算額	担当課	主な事業内容
うどの幼稚園預かり保育事業	6,450	教育課	保護者のニーズに対応するため、平日・長期休業中預かり保育時間を午後6時まで行う。
放課後児童クラブきほっこ委託事業	14,670	福祉課	保護者が共働き等により昼間家庭にいない小学生を預かり、その遊びと生活を支援し、健全育成を行う放課後児童クラブへの委託料。
子育て援助活動支援事業	4,033	みらい健康課	子どもの預かりの援助を受けたい者と支援したい者との相互援助活動に関する調整を図るため、紀宝町ファミリーサポートセンター事業を実施する。

○人口減少対策における主要施策一覧

③空き家対策関連

事業名	予算額	担当課	主な事業内容
地域おこし協力隊関連事業費（再掲）	9,172	企画調整課	空き家調査や空き家活用を中心に活動する地域おこし協力隊を新規採用し、空き家の調査・活用を推進する。
空き家バンク登録業務委託（再掲）	600	企画調整課	民間事業者に空き家の掘り起こしから空き家バンク登録までの業務を委託し、活用可能な空き家の確保を図る。
空き家バンク登録奨励金事業（再掲）	450	企画調整課	地区の紹介で空き家バンクへの登録及び登録物件への入居があった場合に、地区に対して奨励金を支給する。
空き家バンク登録促進助成事業（再掲）	800	企画調整課	空き家バンクへの登録を条件に家財の処分や清掃、改修に要した経費の一部を助成する。
空き家改修支援事業（再掲）	1,000	企画調整課	購入した空き家の改修に要した経費の一部を商品券の交付により助成する。
空き家リノベーション支援事業（再掲）	1,000	企画調整課	町外から転入し、空き家に居住する場合にあって、当該空き家を改修した場合に要した経費の一部を補助する。
空家対策関連事業（再掲）	7,500	基盤整備課	空家の解体・活用を円滑に推進することを図るため、プロジェクトチームにおいて、実態把握や活用の検討を進める。